

# 海外戯曲の言葉をどのように 現代日本の観客に届けるのか～

「紛争地域から生まれた演劇」と ITI 日本センター

日時：2018年6月13日（水）5-6限（16:50～）

場所：本郷キャンパス「文学部 三番大教室」

（国際学術総合研究棟：赤門入って右手建物の奥）

第1部 「紛争地域から生まれた演劇」シリーズについて

第2部 なぜ、「紛争地域から生まれた演劇」を行うのか

コーディネーター（責任講師）：小林真理（文化資源学）

講師：曾田修司（国際演劇協会日本センター事務局長、

跡見学園女子大学教授）

林 英樹（国際演劇協会日本センター理事、演出家）

朝のライラック  
（ダーイシュ時代の死について）

©石澤知絵子



「紛争地域から生まれた演劇」

国際演劇協会（ITI）日本センターが2009年から毎年継続して実施している海外現代戯曲のリーディング上演。劇作家やプロデューサーを招聘してレクチャーやワークショップも行っている。

入場無料。この授業は多分野交流講義「メディア間翻訳・翻案研究：文学テキストの映像化・舞台化」の一環ですが、学外の聴講希望者も参加できます。事前申込不要。



ジハード©石澤知絵子



ハイル・ターイハ（さすらう馬）©宮内勝



場所  
東大本郷キャンパス  
（国際学術総合研究棟）  
「文学部 三番大教室」  
（赤門入って右手建物の奥）  
Venue: Auditorium No.3  
[Sandai]

Faculty of Letters,  
the University of Tokyo  
（Near by the Red Gate）

「赤門そば」「三番大教室」

（文部棟）

（文部棟）

（文部棟）

（文部棟）

（文部棟）

（文部棟）